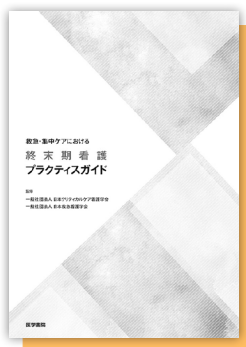


マタニティ診断ガイドブック 第6版

編集：日本助産診断実践学会
定価：2970円(本体2700円+税10%)
発行：医学書院／TEL：03-3817-5650

マタニティ診断は、出産前後の女性とその家族がよりよい状態で過ごすためのケアの指針。本書は教育、臨床の現場で活用できる助産および母性看護の診断名、定義、診断指標を提示する。今版では、妊娠期から産褥期の診断名の変更、分娩経過にそった診断類型の並び替え、産後期の診断の追加などを行い、現場の状況に合わせて刷新した。



救急・集中ケアにおける 終末期看護プラクティスガイド

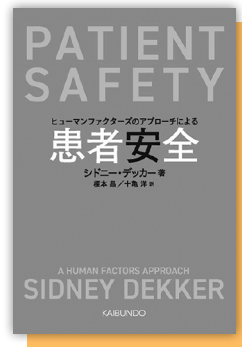
監修：一般社団法人日本クリティカルケア看護学会・一般社団法人日本救急看護学会／定価：3960円(本体3600円+税10%)
発行：医学書院／TEL：03-3817-5650

突然終末期に陥った患者の意思決定支援や、短時間で信頼関係の構築を求められるなど、特有の悩みと困難さを伴う救急・集中ケア領域の終末期看護。よりよい看護を実践するために、終末期看護の概念を多角的側面から整理し、臨床で活用できる具体的なケアを提案。その人らしい最期のために、日々の看護に活用できる実践的ガイド。

みんなの研究倫理入門 臨床研究に なぜこんな面倒な手続きが必要なのか

著：田代志門
定価：2640円(本体2400円+税10%)
発行：医学書院／TEL：03-3817-5650

倫理審査での面倒な手続きに辟易している人必読。研究倫理の基本的な考え方を知るうえで必須の4つのトピックが、深くて新しい研究倫理の世界を開く。症例報告に倫理審査は必要？ 患者への謝礼はいくらなら許される？ 弱者とは誰か？ そんな身近な疑問をめぐる対話から出合う研究倫理は、こんなに知的でおもしろい。



ヒューマンファクターズのアプローチによる 患者安全

著：シドニー・デッカー／訳：榎本晶、十亀洋
定価：4400円(本体4000円+税10%)
発行：海文堂出版／TEL：03-3815-3291

患者安全は、安全とリスクに関する責任を現場の人たちだけに負わせるのではなく、リスクの発生源をシステム内部のあらゆる場所で探し続けることによってつくり出すことができる。本書はチームワークと協調、認知プロセス、組織、経済的・人的資源、技術と機器、政治情勢、職場の文化まで、多岐にわたるリスク発生のポイントを解説する。